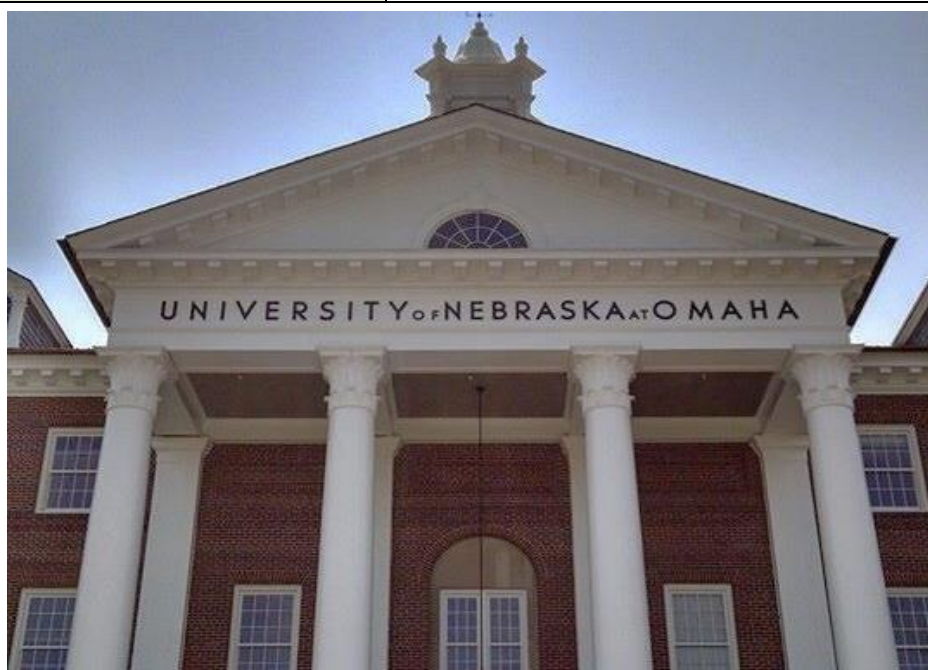


留 学 報 告 書

記入日: 2015年6月9日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: Nebraska University Omaha
留学期間	2014年8月～2015年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年5月13日
明治大学卒業予定年	2017年3月



留学先大学について			
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:9 月上旬～12 月上旬 2 学期:1 月上旬～5 月上旬		
学生数	15,227 人		
創立年	1908 年		
留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	円	備考
授業料		円	協定留学なので留学先の大学に払う必要なし
宿舍費	5,300	600,000円	
食費	3,184	400,000円	
図書費	180	34,000円	
学用品費	398	50,000円	
教養娯楽費	477	60,000円	
被服費	796	100,000円	
医療費		円	
保険費	1,194	150,000円	形態:
渡航旅費	1,910	240,000円	
雑費	636	80,000円	
合計	14,075	1,714,000円	

渡航関連

渡航経路:成田⇒デンバー⇒オマハ

渡航費用

チケットの種類	往復
往路	12 万円
復路	12 万円
合計	24 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ユナイテッド航空

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

大学寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学から送られてきた資料

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

個人部屋があり、大学キャンパスからも近いので、とても住みやすいです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

まず友達に相談して、それでも解決できない場合は留学担当の人に相談しました。相談窓口があったのかはわかりません。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
外務省の HP やネブラスカ大学から随時送られてくるメールで確認しました。人通りが少ないところにはなるべく行かないようにしました。
4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮の WIFI はたまに繋がらなくなりますが、普段は良好です。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
親に日本の口座に入金してもらい、クレジットカードを使用しました。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
日本の薬
進路について
1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 22 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Black American Culture	ブラックアメリカンカルチャー
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Edwardene Taylor Armstrong
授業内容	主に黒人文化について学ぶ。先生によって与えられた課題を自分で調べ、授業でプレゼンテーションする機会がよくあった。
試験・課題など	与えられた課題によるプレゼンテーションとエッセイ作成
感想を自由記入	プレゼンをする機会がよくあったので、人前で英語を話す度胸はつきました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
World Civilization	ワールドシビライゼーション
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Carles Klinetobe
授業内容	15cから現代までの世界史
試験・課題など	学期、計三回のテストと毎週クイズがある
感想を自由記入	先生の話すスピードがとても速くて、授業だけではついていけず、ほぼ毎回補講をもらってました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Studies	国際学
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 135 分が 1 回
担当教授	Thomas E. Gouttierre
授業内容	毎回授業の最初に先生が時事問題について話をする。授業では世界の様々な情勢を取り上げる。
試験・課題など	試験はマーク式、課題は特になし
感想を自由記入	世界の情勢について知ることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to World Religion	宗教
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Gloria J. Epps
授業内容	世界の宗教の紹介
試験・課題など	試験はマークと筆記の組み合わせ。Essay 形式の問題は難易度が高く、しっかり準備しておく必要がある。また、毎週 New York Times の宗教に関する記事を読み、200 字程度で要約する課題がある。
感想を自由記入	試験がエッセイ形式なので難しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL I	ESL I
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	James Vnuk
授業内容	ディスカッションやエッセイの作成
試験・課題など	エッセイが一学期に 3 つ テキストを読んだり、そのなかの問題を解いてくる課題が毎授業ある
感想を自由記入	英語をたくさん話す機会を持ててよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Human Geography	人文地理学
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 140 分が 1 回
担当教授	Optiz
授業内容	世界の都市や地理、経済など幅広い内容
試験・課題など	一学期に 3 回のテスト、テストはマーク式
感想を自由記入	先生がとても面白く楽しく授業を受けれました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro Native American Studies	ネイティブアメリカン
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Ed Zendejas
授業内容	主にネイティブアメリカンに関する過去の法律関係の問題について
試験・課題など	学期末にエッセイ提出
感想を自由記入	先生自身がネイティブアメリカン。ロースクールに行っていたこともあってか、ネイティブアメリカンについて学ぶというよりは、それにまつわる法律問題を学ぶという感じ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introductory Sociology	社会学
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Olu A Oyinlade
授業内容	社会学の基礎を学ぶ
試験・課題など	隔週でのクイズと学期に 3 回のテスト
感想を自由記入	クイズとテストはマルチプルチョイスの問題でしたが、勉強しないと点数は取れないと思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	大学入学、TOEFL の勉強を始める
8月～9月	夏に短期留学に行き、初めて海外生活を経験した 帰国後 TOEFL 初受験
10月～12月	さらに TOEFL でいい点を取るため勉強を続け、二回目の受験 学内選考が始まったので、志望理由書などの必要書類記入にも力を入れた
2014年 1月～3月	留学準備
4月～7月	留学に関するすべての準備をした
8月～9月	渡航準備
10月～12月	中間、期末試験
2015年 1月～3月	中間試験、春休み
4月～7月	期末試験
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は高校の時から海外に興味を持っており、大学に入ったら協定留学をすることを決めていました。主な理由としては、長期的に海外で生活することで、その国の文化を知りたいと思っていたからです。また、英語に囲まれた生活をする中で、自分の語学力を伸ばしたいという理由もありました。今まで培ってきた語学力がどれほどのものかを知りたい気持ちがありました。これからはビジネスでも英語は必要なので、学生のうちに英語にたくさん触れておきたいという思いもありました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	やはり英語の勉強はし過ぎるということはありません。選考に受かった後でも、継続的に勉強した方がいいです。特に、リスニングとスピーキングは重要だと思います。この二つは現地で生活するにしても、授業を受けるにしても必要なスキルなので、優先して勉強した方がいいと思います。また、留学決定後、さまざまな書類を準備しないといけません。早めにそれらを準備したほうがいいです。時間が経つにつれてやらなければならないことも増えてくるので、早めに消化した方が後々楽になります。
この留学先を選んだ理由	私がネブラスカ大学を選んだ主な理由は、日本人が少なそうだったからです。アメリカの中部という田舎の地で、特に観光名所もない場所なので、日本人は少ないだろうと考えました。日本人が少ないことで、英語の勉強に集中できる環境を求めています。また、ネブラスカ大学は教育レベルが高いことでも知られており、すばらしい講師の人や環境も整っているということが魅力的でした。実際に先生方はとても親切でだし、生徒もまじめな人がたくさんいました。
大学・学生の雰囲気	ネブラスカ大学の学生は非常にまじめだと思います。授業を真剣に聞いていますし、発言も活発です。また、図書館にはいつもたくさんの方がいて勉強しているので、とても勉強熱心な人が多いと思います。また田舎ということもあってか、親切な人が多いと思います。ルームメイトは私が困っているとすぐ助けてくれましたし、授業でも先生が言っていることがノートに取れなかったら、隣の人がノートを見してくれたりして、優しさを感じました。
寮の雰囲気	寮では定期的に学生が交流できるイベントが行われていました。それに参加することで、友達をつくる一つのきっかけになると思います。実際私もそのようなイベントに参加することで友達をつくることができました。また、寮は個室もあるので、自分だけの時間を確保することもできました。セキュリティも警備員が巡回しており、安全です。部屋内でのお酒やたばこも禁止されているので、それに関わる事件もないです。部屋も清潔なので、快適に過ごせると思います。
交友関係	留学当初は語学力の問題でうまくコミュニケーションもとれませんでした。時間が経つにつれ慣れていき、自分から積極的に話しかけることができるようになりました。話しかければみんな親切に相手をしてくれるし、そこから友達もできました。友達ができると一緒にご飯に行ったり、その人の家でのパーティーに誘われたりしました。私は語学力の問題でネイティブの人に囲まれて話すのはとても大変で、英語が話したくない時もありましたが、そこから逃げないことが大事だと思いました。こちらががんばってコミュニケーションをとる態度を見せれば、相手も理解して心を開いてくれることが分かりました。
困ったこと、大変だったこと	授業についていくのが大変でした。特に話すスピードが速い先生の場合は、授業中に理解することが難しかったです。また、授業中にディスカッションの機会がある場合は、授業の内容を理解したうえでの発言が求められるので大変でした。授業を補う中での理解度を上げるために予習、復習をする必要がありました。予習、復習に関しても教科書や大量の資料を読まなくてはいけなかったので大変でした。平日は夜遅くまで図書館で予習と復習をしていました。
学習内容・勉強について	授業についていくのは大変で、落ち込むことも多かったと思います。しかし、やる気と根性を見せれば、先生も懇切丁寧に指導してくれます。なので、分からないことは先生に聞いたりすると良いと思います。そのままわからないことを放置しておくのが一番ダメだと思います。また、勉強時間は日本にいる時よりも十分取れるので、勉強すれば授業についていくことはできると思います。実際、授業以外でどれだけ自分で勉強するかが大切だと思います。

課題・試験について	課題や試験についてはとても大変でした。英語が母国語でないことから、現地の学生よりも課題をするのもテスト勉強をするのも時間がかかります。しかし、そこは言い訳にできません。課題は授業により量の違いがありますが、多いと思います。しかし早めに処理すると大丈夫です。課題をためてしまうと次から次へ課題がでてきてしまい、大変になります。試験は留学生であることを先生に言うとか辞書の使用が許可されたりするので、一度聞いてみるといいかもしれません。
大学外の活動について	特にありません。
留学を志す人へ	長期間海外で生活する機会は、学生のうちにしか経験できないものかもしれません。留学することで様々な経験が得られます。協定留学生として選ばれるまでに大変なことはたくさんありますが、思いを強く持ってあきらめないことが大切だと思います。留学の計画は長期的に考えると良いと思います。いつまでにTOEFLの点をとるのかや、いつから志望理由書、面接の対策をするのかを明確にして、その計画をこなしていけるようにすると良いと思います。努力に見合う経験は得られると思うので、あきらめずに頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
	授業	授業	授業	授業	授業	自由	自由
午後	授業	授業	授業	授業	授業	自由	自由
	授業	勉強	勉強	授業	友達と出かける	自由	自由
夕刻					友達と出かける	勉強	勉強
夜	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強